

—スタッフ紹介—

役職	スタッフ名
診療局長兼主任部長 兼臨床研修センター副センター長 兼ICU/CCUセンター長 兼心臓・血管センター長 兼医療安全管理室長	船津 俊宏
部長	良本 政章
医長	石田 勝
非常勤医師	石津 寛治

—概要—

心臓血管外科では、冠動脈疾患、弁膜症、大動脈瘤、弁膜症合併不整脈、下肢閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤など、心臓大動脈、末梢血管を中心とした多様な病変に外科治療を行っている。近年、こうした循環器疾患の治療を要する患者は、高齢化、他疾患の合併などから、ますます病態は複雑化し、ハイリスクとなっている。これらの患者に対して、単に手術を行って生命予後を改善するばかりではなく、術後の活動性や生活の質を保つことも重要な課題である。我々は、心臓・血管センターの一翼として、循環器内科、看護師、薬剤師、リハビリテーション療法士、臨床工学士、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多職種と連携し、急性期診療に取り組んでいる。また慢性期の日常臨床においては、かかりつけである地域の先生方と密に連携し(病診連携、病病連携)、退院後の全身状態の把握や管理に努めている。

当科では、従来の冠動脈バイパス手術、弁膜症手術、大動脈、末梢血管手術に加え、大動脈ステントグラフト治療も高齢者中心に定着した。また当院で対応困難な、経カテーテル大動脈弁置換や重症心不全の患者に対する植込み型補助心臓等については、大阪大学関連施設への橋渡しを行っている。

—実績—

2022年1月～12月に、りんくう手術室および救命手術室で行った全手術数は、154件であった。開心術およびその他の内訳を以下に示す。

冠動脈疾患	15例*
弁膜症	60例*
MICS手術	10例
胸部大動脈瘤(開胸手術)	20例*
胸部ステントグラフト内挿	1例
急性大動脈解離	4例*
心筋症、その他開心術	6例
末梢血管手術	19例
腹部大動脈瘤(開腹手術)	23例

腹部ステントグラフト内挿	7例
その他手術	15例

\*重複あり

—今年度の成果と反省点—

今年度は、昨年導入した右小開胸による僧帽弁手術(いわゆるMICS手術)を大動脈弁置換に拡大し、3例に実施した。僧帽弁7例と合わせて10例となった。また再手術症例に対しても、MICS手術を導入した。

今年度も従来の予定、緊急の心臓血管外科手術に加え、救命救急センターへ搬送された外傷症例にも積極的に対応し、救命診療科医師と連携して手術を行ってきた。

現地開催の学会が再開され、できる限り全国学会中心に発表を行った。または論文発表も3篇行った。

月1回救命救急センターと心臓・血管センターの合同カンファレンスを、また週1回心臓・血管センターカンファレンスを行い、連携を深めるとともに、多職種が意見交換できる症例の検討会を行っている。

—来年度への抱負—

MICS手術を含む手術数の増加図り、さらに新しい手術方法や術式にも取り組んでいきたい。また学術面でも、学会発表や論文活動の充実に努めたい。

